

# おねしょ（夜尿症）でお困りの方 小児科を受診しましょう！



子どものおねしょ（夜尿症）は「5歳を過ぎ、1か月に1回以上の頻度で夜間睡眠中の尿失禁があり、3か月以上続くもの」と、定義されています。

「おねしょ」と「夜尿症」は、夜寝ている間に無意識に排尿してしまうということでは同じですが、その違いのポイントは年齢です。つまり、幼少期の夜尿を「おねしょ」といい、5～6歳（小学校入学前後）以降の夜尿を「夜尿症」といいます。5～6歳になっても夜尿が続く場合は、お子さまのストレスにもつながりますので、積極的な生活指導やお薬による治療など、適切な対策をとり、なるべく早く治療しましょう。



**毎週木曜日 午前中 竹村司 医師（小児科）が担当します。**

**特別な予約は必要ありませんが、出張等で休診の場合もありますので、来院前に電話で確認をお願いします。**